



today's DANDY

# 算陽介 さん

KAKEI YOSUKE

## 特集 I Love Shibecha

「しべちゃ」町内で、標茶を愛し活動する方や団体を紹介するこのコーナー

12年ぶりに復活するはずだったスノーフルフェスタ。イベント実施に向け準備を商工会青年部が中心となり行ってきましたが、悪天候のため中止を余儀なくされました。

青年部長として、本町に住む若き青年部員をまとめあげ、この人だから復活させることが出来たと巷で囁かれているのが今回の「あいらぶしべちゃ」な人。算陽介一。

### 「印象」

東部ダイハツ株式会社代表取締役として、日々忙しくする中、商工会青年部長としての活動や釧路青年会議所への参加など、地域おこしに対する意識が非常に高く、従業員や青年部員だけでなく、仲間を大切にしているハートフルな方です。

一時、標茶町を離れて暮らしていた時期もあり、標茶町は「家族と一生涯住み続ける場所」として、標茶町で何かできることはないかと日々考えていたといえます。その時の印象として「食にしても観光にしても標茶には色んな素材が揃っていて、魅力的なまちだけど、この魅力を町外には発信していない」人口の増加はもちろんのこと、その魅力を発信して、交流人口を増やすことがまちおこしになるのではないかと。

### 「転機」

標茶町内にはいろんな団体がありますが、標茶を盛り上げるため関わりの少ない人たちとも積極的に対話したり、「交流」人脈を増やす中で一つの取り組みも生まれま

# SNOW FULL FESTA in SHIBECHA

悪天候により残念ながら中止になりましたが、前日までに準備された雪像などを紹介します。



ジバニャン  
東都ダイハツ株式会社



オラフ  
NITTA ーズ



ヤチマナ子ちゃん  
標茶高校



ベイマックス  
雪だるま作るう〜♪



## SNOW FULL FESTA in SHIBECHA 実行委員会メンバー

(上部左から)多田征人、笈陽介、伊藤明人、平田修、黒崎靖広、吉田悟志、澤田廉仁(下部左から)氣仙昌樹、長尾式宮、館石吉貴、湯田賢三、栗田勇(敬称略)

写真のかまくらやアイスキャンドルは、実行委員会で作成しました。



「機は熟した」  
笈さんが幼少の頃から冬のイベントとして親しみを持って参加してきたスノーフルフェスタは平成15年を最後に開催されていません。これでは、子どもたちの冬の楽しみを大人が奪ってしまったように感じていました。そんな中、笈さんが青年部長になり、スノーフルフェスタの開催を公約として挙げました。当初は不安だらけだったのですが、青年部員からは開催に反対する意見は一つも無く、笈さんへの協力を惜しまないと言ってもらい、涙が出るほどうれしかったとのこと。

しべちゃフェアは、標茶を町外に発信するとても良い機会になりました。さらには、青年部だけでなく、年齢の近い酪農家の方々や普段接することの少ない方々と協力してできたことは、まちおこしの未来への先駆けでした。実際、さまざまな方の思いの中で調整役として活動できたことは、それまでくすぶっていた「地域おこし」に対する夢・理想を現実へと進めるターニングポイントとなりました。

ひとりではまちおこしはできない。支える人が多ければ多いほど、大きな力になり未来は明るく照らされる。ご自身「人生一度きり、後悔したくない。成功や失敗にこだわりはなく、いつまでもチャレンジ精神」を日々心掛けており、将来、経営者としてイベントターとして、町内に「しべちゃパーク」構想を抱き、その中で酪農という産業を観光や地産地消、消費拡大など町民の憩いの場所になるだけでなく、町外の人にも発信できるような場所を作りたい、また、まちおこしに関心がある人は、気軽に声を掛けてほしいと話し、たくさんの笑顔を創造するための次の一歩を踏み出しています。

「中止」  
残念ながら当日は猛吹雪となりイベントは中止になってしまいました。今回、準備段階からいろいろな方と協力し合う中で、一番強く感じたことが、仲間たちへの信頼が強くなったこと。団体、年齢、性別、住んでいる場所なんて関係なく、手伝いたいという声かけが生まれたことが心から嬉しかったと振り返りました。